

ジャックと豆の木に挑戦！  
トマトを育てて実感する“家族の絆”

水気耕栽培ハイポニカの協和株式会社(大阪府高槻市 代表取締役 野澤 重晴)が実施している「ジャックと豆の木コンテスト」の参加者から続々と楽しい報告が届いています。

家族で体感する童話の世界と題した企画ですが、一緒に育てることで家族の和・絆の感じられるもの、「栽培は初めてだったけど、こんなに大きくすくすくと育つなんて！」といった驚きの声が届いています。



【栽培経過の様子】

コンテストは開催期間の中旬を迎え、待ちに待ったトマトの収穫が始まりました。夏休み期間と重なり、お子様たちと装置の防風対策や雨水対策、誘引を行い、楽しんで頂いています。コメントでは「250個ほどミニトマトが出来そう」「土がないのにこんなにトマトが育つんだ」など、想像以上のトマトの生長力に参加者の方から驚きの声が届いております。

当社ホームページでは、ご送信いただいた写真だけでなく、参加者様のコメントも掲載しており、栽培の感動を生でご覧いただけます。また、栽培の工夫も多種様々になっており、参加者の方々の奮戦の様子もお楽しみいただけます。



**【コンテスト概要】**

2012年4月～2012年6月までに栽培装置(ホームハイポニカ 402)をご購入頂き、付属の種を6月30日までに播種出来た方。

栽培開始後月一回以上デジカメで作物を撮影し、当社へ写真データをお送り頂きます。

2012年10月末まで栽培を行って頂きます。

**【賞品】**

最優秀賞にハワイペア旅行券をはじめ、多数をそろえております。

詳細は当社ホームページ 本コンテストサイトご参照ください。

<http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

**<ハイポニカ水耕栽培について>**

協和(株)は1962年から水耕栽培の研究を開始、1966年から国内で水耕栽培プラントの販売を行っている老舗のメーカーで、1985年のつくば科学万博の政府館でトマトの放任栽培により一株から一万六千個の実をつけた【巨木トマト】を展示しました。この独自の栽培技術は国内外から多くの評価を受けています。

特に同社のシステムは全ての作物や生育時期において、肥料の成分や濃度を変えず、常に同一濃度、同一組成で栽培ができるため、自動化、省力化が容易であると同時に、土栽培では不可能とされる栽培技術の標準化が可能であることが大きな特徴です。

植物が生育する環境を安定に保つことで、生理状態を高レベルで安定し、土での栽培や他の水耕栽培と比べて生育速度が速く、品質が高く、収量も多い特長があります。

**<会社概要>**

【代表者】 野澤 重晴 (ノザワ シゲハル)

【設立】 1953年7月

【資本金】 9,600万円(グループ合計23億7千万円)

【事業内容】 プラスチック成型金型設計・製造、

・成型部品製造・販売

・水気耕栽培ハイポニカの設計・製造・販売

(URL) <http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

**<本件に関するお問い合わせ>**

ハイポニカ 広報担当

天野 督章(アマノ トクアキ) / 賀集 淳一郎(カシュウ ジュンイチロウ)

E-mail: [t-amano@kyowajpn.co.jp](mailto:t-amano@kyowajpn.co.jp) / [j-kashu@kyowajpn.co.jp](mailto:j-kashu@kyowajpn.co.jp)

TEL: 072-674-1161 FAX: 072-674-1191